



今回は、静岡県の「社会資本長寿命化行動方針」についての特集です。



建設技術監理センター 勝山所長

私から質問
します。



平成 15 年度に策定した「土木施設長寿命化行動方針(案)」
を新たな知見を取り入れて見直し、「社会資本長寿命化行動
方針」として発表しました。

今回の見直し作業で委員を務めた建設技術監理
センター勝山所長にお話を伺いました。

Q. 今回の見直しで、以前のもの大きく変わったと
ころはどこですか？

A. 大きな見直しは、2点になります。
まず1点目は、長寿命化に優先的に取り組む
施設を増やしたことです。

Q. 優先的に取り組む施設とは何ですか？

A. 県が管理する社会資本の中から、施設の規
模や、社会的影響度等を考慮して優先的に取
り組んでいく施設を決めています。

具体的な施設としては、橋梁、舗装、トン
ネル、水門・陸こう、ダム、斜面施設、港湾、
漁港、空港、下水道、公園、農業水利施設の
12施設となっています。

Q. もう1項目は何ですか？

A. 2点目としては、社会資本の劣化予測手法
について、新たな知見を取り入れて充実を図
ったことです。

点検に基づく状態把握により、将来の施設
状態を予測し、補修の時期や必要となる予算
の将来計画の策定が可能となりました。

そのため、大規模な修繕が必要となる前に
どの程度の劣化で補修を実施すれば、長持ち
するかが分かり、コストの縮減にも繋がります。

Q. 老朽化が進行する施設で、どのように安全が確
保されるのでしょうか？

A. 行動方針では、施設点検の重要性や、現在
の課題解決に向けた取り組みについて記載し
ています。

特に、重要度の高い施設では、定期的に点
検を行って施設の状態を監視することとして
います。点検結果や、補修履歴の蓄積などの
データを活用し、老朽化等による事故を未然
に防ぐために役立てていきます。



Q. 県では、社会資本の長寿命化をどのように推進
していきますか？

A. 今後施設毎に、適正な管理や更新を実施す
るための計画（中長期管理計画）を策定して
いきます。

橋梁などでは、既に策定済ですが、その他
の施設についても、いつ、どのように補修を
実施していくのか、将来、施設の維持更新費
がどれくらい必要なのかを検討していきま
す。

また、計画を策定済の施設では、現在、緊
急性の高い箇所から順次、対策工事を実施し
ているところです。

ありがとうございました。

更に詳しい内容を知りたい方は、県HPまたは、
「社会資本長寿命化行動方針」で検索してみて下



社会資本長寿命化行動方針

検索



社会資本長寿命化・市町支援窓口の設置について

このたび、県内市町を対象に社会資本に対する長寿命化を支援するための窓口を建設技術監理センター内に設置しました。

支援内容は、県による出前講座や民間の建設技術エキスパートによる技術的助言等の人材支援、ガイドラインやマニュアルの提供等の計画支援となります。

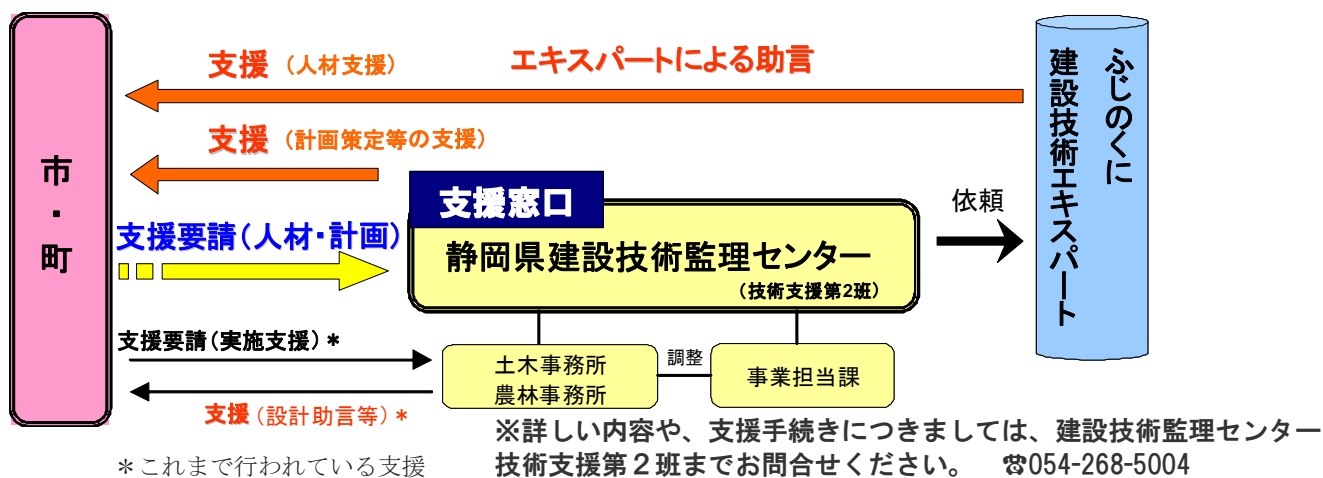
長寿命化の推進に向けて、是非御活用ください。

※現在、建設技術エキスパートは、橋梁、河川・海岸分野で登録があります。今後、トンネルや砂防分野にも登録を広げていく予定です。



社会資本長寿命化・市町サポート窓口

技術支援の概要



～ 静岡県の長寿命化の取り組み紹介 ～

○富士山静岡空港における長寿命化に向けた取り組みの紹介です。

まもなく開港後4年を迎える富士山静岡空港で、長寿命化に向けて取り組んでいる空港局の佐藤さんにお話を伺いました。



空港経営課 佐藤さん

「空港」と聞いて皆さんが思い浮かべるものは、滑走路、誘導路や駐機場だと思えます。これらの施設は航空機の運航に直接関係する施設であることから、走行の安全性や耐久性などの性能を常に確保する必要があります。また、空港では、この他にも電源施設や調節池などの重要な施設が多くあります。

富士山静岡空港は新しい施設ですが、より良い状態でより長く使用できるよう日々、ひび割れ箇所の補修などの維持管理に取り組んでいます。

さらに、限られた予算の中で、今後、効率的に維持管理を行うため、中長期管理計画の策定にも取り組んでいます。

今後も安全で快適な航空機の運航が確保できるよう、引き続き質の高い維持管理に努めてまいります。



ひび割れ補修 (誘導路)

<第11号の発行にあたり>

笹子トンネルの事故により、老朽化した公共施設の安全性への不安が大きくクローズアップされることとなりました。

県としては、2月補正予算を活用し、点検および、老朽化対策を一層進めるとともに、市町と連携し、社会資本の長寿命化の取組を推進させていきます。

最後になりますが、次号より新しい担当者によるアセットタイムズの発刊になりますが、今後ご愛読をよろしくお願ひします。

発行・編集

静岡県建設技術監理センター
技術支援第2班 佐原・海野

〒421-0122
静岡市駿河区用宗1丁目10-1
TEL 054-268-5004
FAX 054-258-6030